

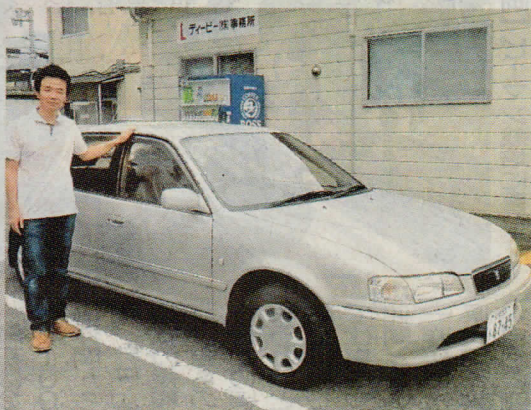
仮設住民らに 共用の車提供

日本カーシェアリング協会（神戸市灘区）が、イーブりに役立ててほしい」とし、24日には1台目を宮城県石巻市の仮設住宅に届ける。

津波で多くの車が流された東日本大震災の被災地に車を提供し、グループで使用できるカーシェアを提案している。仮設住宅の住民らに使用してもら

「コミュニティ」で、イーブりに役立ててほしい」とし、24日には1台目を宮城県石巻市の仮設住宅に届ける。

同協会の吉沢武彦代表理事（32）は、震災直後からボランティアとして被災地入り。車も財産も失い、困っている人々を目的とする。4月から活動を始め、趣旨に賛同したタカラ物流システム（京都府宇治



24日に宮城県石巻市の仮設住宅に持ち込む「カーシェアリング第1号」の車と吉沢さん＝京都府宇治市内（吉沢さん提供）

市）などが車を提供。さちの触れ合いにも役立つらに中古車販売大手「ガリバーインターナショナル」（東京）も協力を申し出、車の確保に見通しがついた。

6月下旬には、石巻市の仮設住宅でアンケート。回答者52人のうち、32人が車を失い、35人が「仮設住宅内で共用できる車が必要」と答えた。車検代と保険代（1年間）など初期費用約25万円は寄付を募り、資金が準備できた時点で順次、被災地に車を届ける。維持費は利用者が負担する。吉沢さんは「カーシェアは、仮設に住む人た

同協会は10千円で寄付を募集。口座番号はゆうちょ銀行の記号14330、番号17947751、口座名は「一般社団法人日本カーシェアリング協会」。吉沢さん090・1712・6760（岡西篤志）



東日本大震災
支援情報

企業の協力で
きょう石巻に1台目